

世界銀行東京事務所ニュースレター

2022年（令和4年）7月号



G7 エルマウ・サミット（6/26-28@ドイツ）

マルパス総裁は、ドイツ・エルマウで開催された G7 サミットに参加し、ウクライナ、エネルギー、気候変動、食糧安全保障などの議論に参画したほか、岸田総理を始めとする G7 各国首脳や招待国首脳（インド・インドネシア・セネガルなど）・国際機関（IMF・WTO・WHO 等）と意見交換しました。



マヌエラ・フェッロ 東アジア大洋州地域担当副総裁の来日（6/7-10）

マヌエラ・フェッロ副総裁は、第2回国連海洋会議@リスボンに先立って開催された **Tokyo Blue Talk**（主催：国連大学・駐日ポルトガル大使館・駐日ケニア大使館）に参加するため訪日し、日本政府、国際協力銀行、国際協力機構、アジア開発銀行研究所（ADB）などの関係機関との意見交換も行いました。



西尾昭彦 開発金融総局（IDA 増資）担当副総裁の来日（6/21-24）

西尾昭彦副総裁は、日本政府が世界銀行に設けている信託基金の運営に関する年次協議への参加や、昨年 12 月に日本がホストした最終会合で妥結した IDA20 増資の立ち上げなどについて意見交換するために訪日しました。この機会に、東京事務所では、西尾副総裁の参加を得て、ラウンドテーブル「変貌する援助の流れ：公的資金の流れと援助構造のトレンド」を開催しました（モデレータ：東京大学・澤田教授、パネリスト：元ネパール財務次官、ADB 園部所長、早稲田大学・北野教授、野村特任准教授（慶應義塾大学・東京大学）、西尾副総裁）。100 名近くの方々にご参加頂いた本会合では、西尾副総裁がトップを務める開発金融総局がまとめた研究レポートを元に、援助構造の変化などについて活発な議論が交わされました。



東京事務所主催セミナー

「世界経済見通し（GEP）2022年6月版」（6/17：ADB との共催）

東京事務所では、アイハン・コーゼ局長を招き、オンライン・セミナーを開催しました（ADB からジョン・バーン シニアリサーチフェローがコメンテータとして参加）。今回の GEP では、ウクライナ危機などを踏まえ、成長見通しが大幅に引き下げられています。

	6月時点（2022年成長率）	1月時点（2022年成長率）
世界全体	2.9%（前回比▲1.2%）	4.1%
低所得国	4.1%（前回比▲0.8%）	4.9%
先進国	2.6%（前回比▲1.2%）	3.8%

「数々の嵐を切り抜ける：強靱な成長におけるインフラの役割」 (6/22)

防災ハブ・質の高いインフラ投資パートナーシップ・GIF（グローバル・インフラストラクチャー・ファシリティ）、TDLC（東京開発ラーニングセンター）は、インフラに関するセミナーを共催しました。本会合では、来日中の3局長（サメ・ワーバ局長（防災・都市開発など）、イマード・ファーフリー局長（インフラ）、ダーク・レニールマン局長（信託基金））の参加も得て、官民双方から資金を動員しつつ、強靱で質の高いインフラ投資を促進するための戦略などについて議論しました。



ヤングプロフェッショナル（YP）キャリアセミナー・東京防災ハブ職員募集

世界銀行グループ（IFC・MIGAを含む）の幹部候補生（YPP）の選考手続き開始に当たり、本部の採用担当職員に加え、世界銀行グループで勤務中の日本人YP二人の参加を得て、日本の方を対象としたキャリアセミナーを開催しました（6月28日）。応募要領などは、右上のQRコードからご確認頂けます。



この他、東京防災ハブでは、**防災専門官・上級防災専門官**の募集手続きを開始しています。詳細については、右下のQRコードからご確認ください。

TICAD 写真展@秋田（GGG+フォーラム秋田 2022）

GGG+フォーラムの秋田開催（主催：日本リザルツ、後援：AKT 秋田テレビ・秋田魁新報社）に合わせ、TICAD7@横浜（2019年）時に開催したアフリカ写真展の写真を秋田の会場（キャッスルホテル）で展示しました。いずれも、世界銀行スタッフのドルテ・ヴェルナー（写真右）が出張先で撮影したもので、風景画の中に映るアフリカの人々の姿を通じ、アフリカの人々の生活に思いを馳せて頂く一助となったのではないかと期待しております。



東京事務所職員紹介

有馬良行：財務局駐日代表

1989年一橋大学商学部卒。東京銀行（現三菱UFJ銀行）において、米国債トレード・本邦企業の欧州市場での起債支援・社債管理会社業務・米国私募債引受業務などを手掛けた後、2000年に世界銀行入行。本邦資本市場における投資家へのIR活動全般を管轄、個別起債案件や新型世銀債の発行に関する各種サービス提供を行っている。著書に「戦後復興秘録―世銀融資に学ぶ日本再生」（共著）がある。



（編集：世界銀行東京事務所 開 裕香子）